

実施計画に係る事業進捗状況

令和7年11月26日

滋賀県 流域政策局

長浜土木事務所木之本支所

実施内容について（滋賀県）

- ①－１ 工事用道路として利用した県道中河内木之本線の整備
 - ・ 拡幅工事に必要な道路整備工事を水資源機構へ施工委託 【実施中】
 - ・ 区間内の橋梁拡幅を水資源機構へ施工委託 【実施中】
- ①－２ 県道中河内木之本線（道路補修）
 - ・ 雪で変形した歩道用転落防止柵の補修 【実施中】
 - ・ 破損している歩車道境界ブロックの補修 【完了】
 - ・ 消雪水の道路排水対策（下丹生地先）【実施中】
- ③－１ 県道杉本余呉線のバイパス整備 【実施中】
- ④－１ 高時川の河川改良
 - ・ 河川改良に向けた詳細設計等（下丹生、上丹生、菅並地先）【実施中】
- ④－２ 高時川の維持管理
 - ・ 護岸補修工事（中河内）【実施中】
 - ・ 堆積土砂の撤去（浚渫）【実施中】
 - ・ R4年8月豪雨災害による濁水への対応 【実施中】
- ④－３ 妙理川の維持管理
 - ・ 堆積土砂の撤去（浚渫）【実施中】
- ⑤－１ 瀬切れ対策（魚類の一時避難場所およびみお筋の確保）
 - ・ 水制工の効果検証（モニタリング 湖北高田町地先）【実施中】
 - ・ 水域確保に向けた検討・調査（湖北高田町地先） 【実施中】
- ⑪－１ 余呉湖の観光誘客に向けた取組み 【実施中】
- ⑪－６ 余呉湖周辺を活用した地域振興プランの検討 【実施中】
- ⑪－５ 自然保護地を活用したエコツーリズムの実施 【実施中】
- ⑪－７ エコツアーの歩道整備 【実施中】
- ⑭－２ 残存山林の寄付引き受け・維持管理 【実施中】
- ⑭－３ 買収済み用地の維持管理 【実施中】
- ⑭－５ 林道横山岳線の整備
 - ・ 余呉工区の林道整備（菅並地先）【実施中】

県道中河内木之本線の整備

水資源機構が実施する現県道の原形復旧・機能回復工事にあわせて拡幅工事を水資源機構に委託

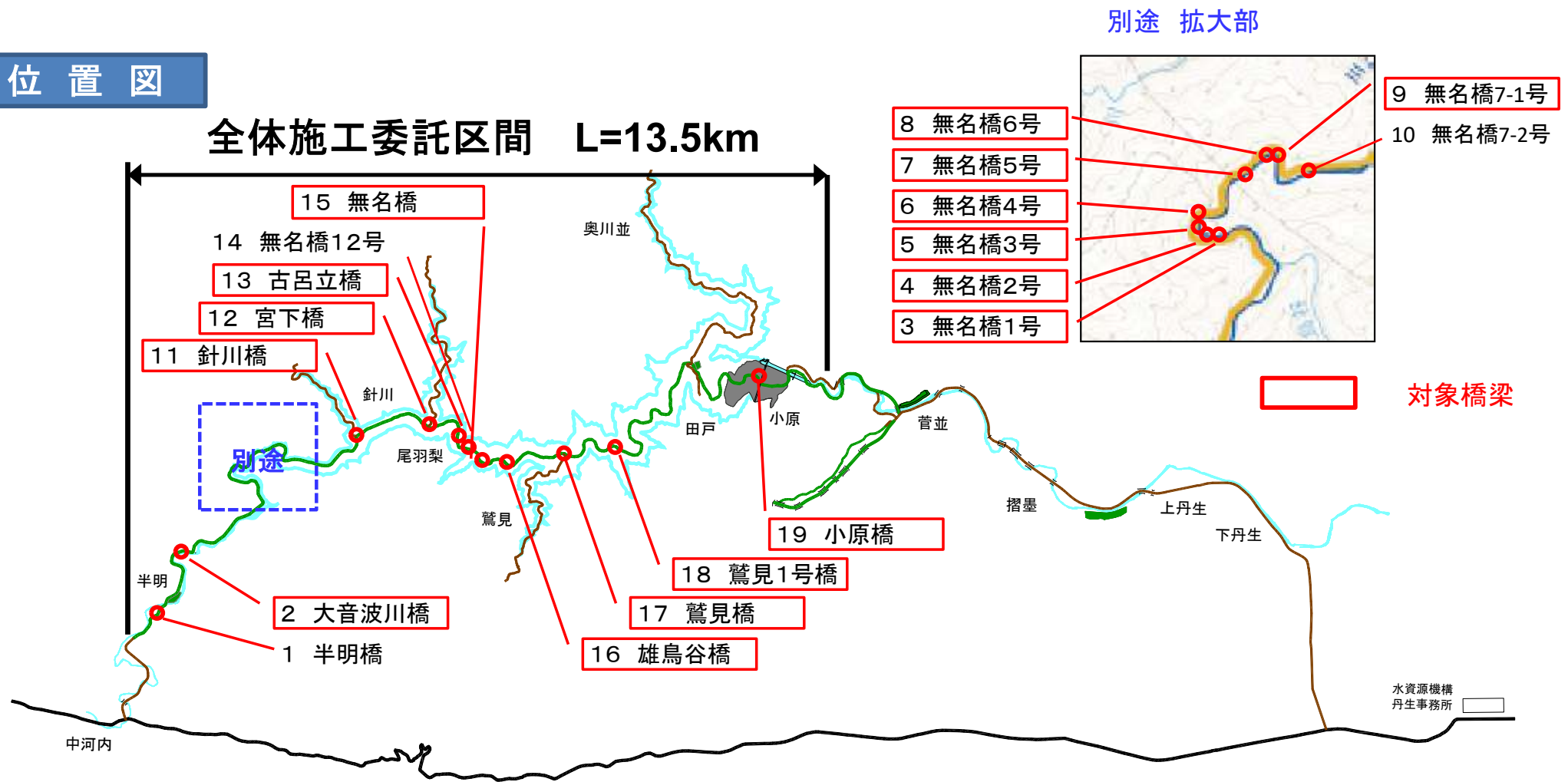
位置図



県道中河内木之本線の整備

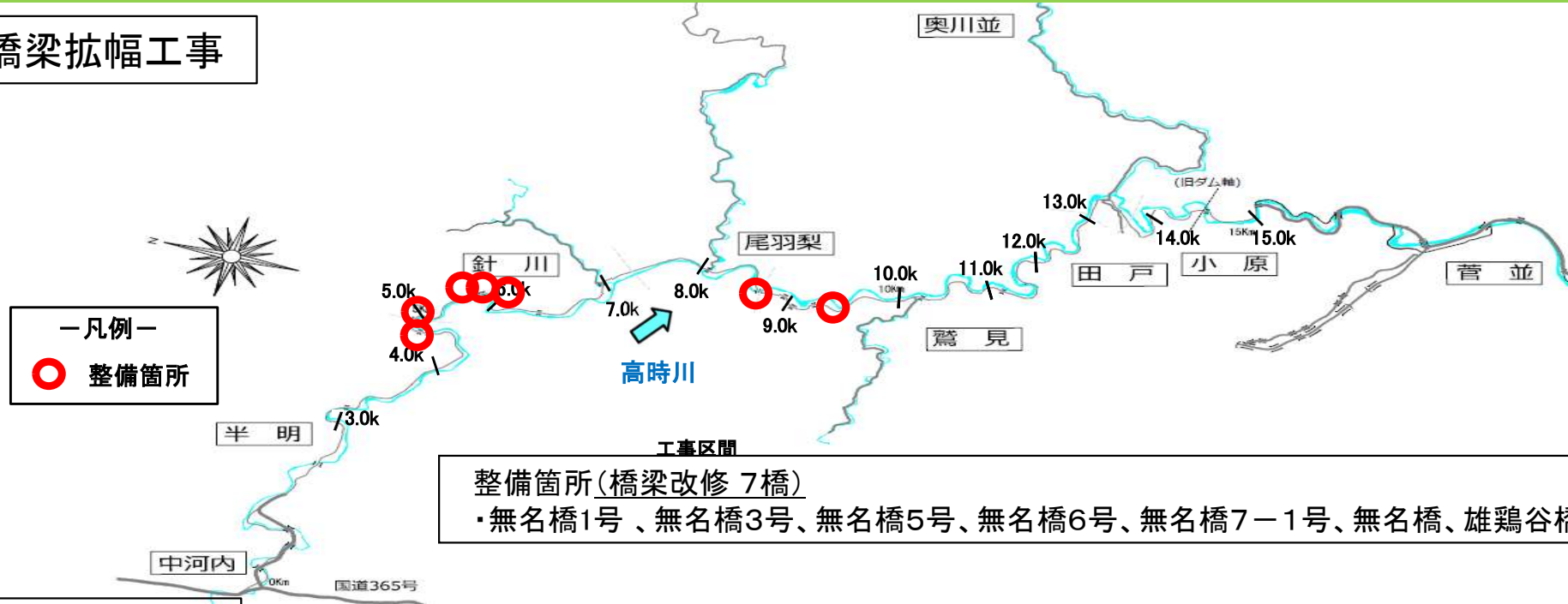
- 橋梁点検結果を踏まえ、19橋のうち16橋の拡幅を予定

位置図



県道中河内木之本線の整備

橋梁拡幅工事



整備済み箇所

大音波川橋



無名橋2号



無名橋4号



①ー1 工事用道路として利用した

県道中河内木之本線の整備

■ 橋梁整備の状況については下表とおり。

- ・予備設計…全16橋について予備設計完了。(※3橋について拡幅不要)
- ・詳細設計…対象16橋について詳細設計完了。
- ・施工中……3橋の拡幅工事を完了。現在、7橋の拡幅工事を実施中。

| No | 橋名 | 拡幅方法 | 現状 | | | 備考 |
|----|---------|-----------------|------|------|------|----|
| | | | 予備設計 | 詳細設計 | 拡幅工事 | |
| 1 | 半明橋 | 拡幅不要 | — | — | — | |
| 2 | 大音波川橋 | | ○ | ○ | ○ | |
| 3 | 無名橋1号 | 谷側函渠構造 | ○ | ○ | 実施中 | |
| 4 | 無名橋2号 | ボックスカルバート川側拡幅 | ○ | ○ | ○ | |
| 5 | 無名橋3号 | 谷側函渠構造 | ○ | ○ | 実施中 | |
| 6 | 無名橋4号 | ボックスカルバート川側拡幅 | ○ | ○ | ○ | |
| 7 | 無名橋5号 | ボックスカルバート川側拡幅 | ○ | ○ | 実施中 | |
| 8 | 無名橋6号 | ボックスカルバート川側拡幅 | ○ | ○ | 実施中 | |
| 9 | 無名橋7ー1号 | ボックスカルバート川側拡幅 | ○ | ○ | 実施中 | |
| 10 | 無名橋7ー2号 | 拡幅不要 | — | — | — | |
| 11 | 針川橋 | 角太橋 | ○ | ○ | 未 | |
| 12 | 宮下橋 | 角太橋 | ○ | ○ | 未 | |
| 13 | 古呂立橋 | 増し桁 + 橋台補強 | ○ | ○ | 未 | |
| 14 | 無名橋12 | 拡幅不要 | — | — | — | |
| 15 | 無名橋 | 谷側函渠構造 | ○ | ○ | 実施中 | |
| 16 | 雄鳥谷橋 | 門型カルバート(谷側)(当初) | ○ | ○ | 実施中 | |
| 17 | 鷺見橋 | 角太橋 | ○ | ○ | 未 | |
| 18 | 鷺見1号橋 | 角太橋 | ○ | ○ | 未 | |
| 19 | 小原橋 | 角太橋 + 鋼床板化+橋台補強 | ○ | ○ | 未 | |

凡例：完了 、工事実施中

①ー 1 工事用道路として利用した

県道中河内木之本線の整備

■ 橋梁拡幅工事については、以下のスケジュールを想定している。

【令和8年度までに完了が見込めない工事について、国が引き続き整備を滞りなく実施するための調整を進め、早期完成に向け県道整備の進捗を図ります】

(令和6年度)

無名橋2号の拡幅工事および2橋(小原橋、古呂立橋)の詳細設計を完了。

4橋(無名1、3号、無名橋、雄鳥谷橋)の拡幅工事に着手。

4橋(針川橋、宮下橋、鷺見橋、鷺見1号橋)の詳細設計を発注。

(令和7年度)

4橋(無名橋1、3号、無名橋、雄鳥谷橋)の拡幅工事を実施。

4橋(針川橋、宮下橋、鷺見橋、鷺見1号橋)の詳細設計を完了。

無名橋5号、無名橋6号、無名橋7ー1号の拡幅工事に着手。

(令和8年度)

小原橋他8橋の拡幅工事を実施予定。

| 実施内容 | 令和2 | 令和3 | 令和4年度 | | 令和5年度 | | 令和6年度 | | 令和7年度 | | 令和8年度 | |
|----------------|-----|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|
| | 下半期 | 下半期 | 上半期 | 下半期 | 上半期 | 下半期 | 上半期 | 下半期 | 上半期 | 下半期 | 上半期 | 下半期 |
| 設計条件確認 | | | | | | | | | | | | |
| 橋梁予備設計 (完了) | 6橋 | 10橋 | | | | | | | | | | |
| 橋梁詳細設計 | | 6橋 | | | 4橋 | | | | 2橋 | | | |
| 橋梁拡幅工事 | | | | | | | | | | | | |
| 災害復旧工事 | | | | | | | | | | | | |

①ー2 県道中河内木之本線の道路補修（1）

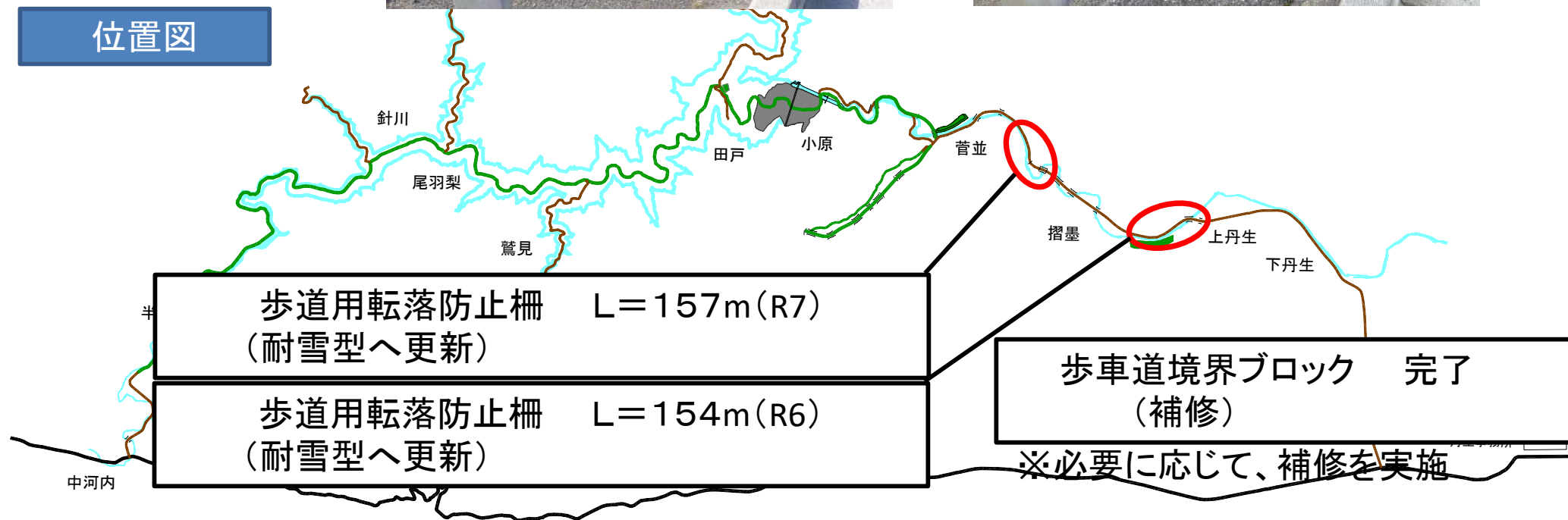
【実施中】

（工期：H29年度～R8年度）

雪で変形した歩道用転落防止柵および破損している歩車道境界ブロックの補修



位置図



①ー２ 県道中河内木之本線の道路補修（２）

消雪水の道路排水対策

【短期的対策】

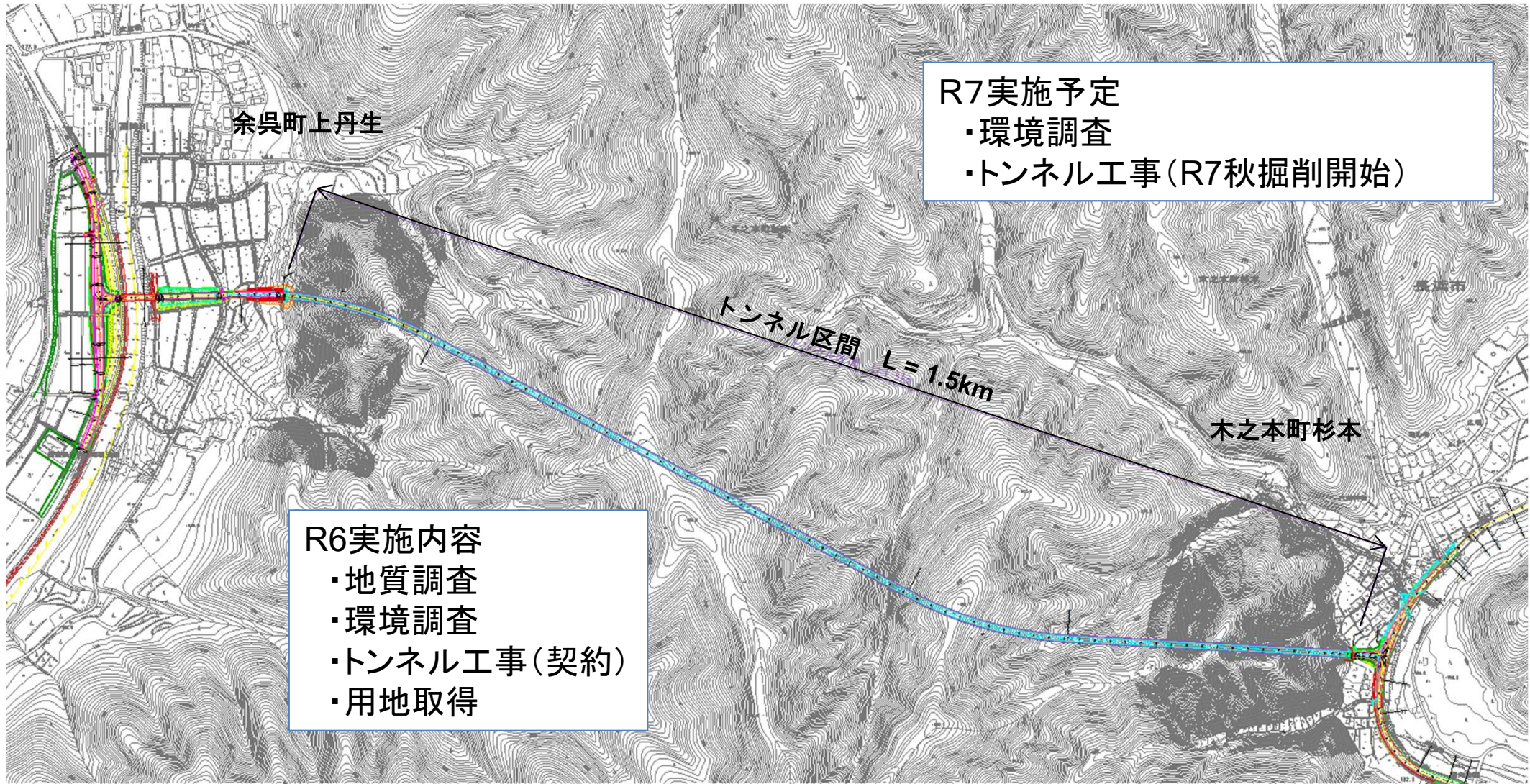
- ・路肩拡幅により消雪水を高時川へ排水。引き続き経過観察とする。

【長期的対策】

- ・道路縦断の見直しなど、高時川の改修にあわせた抜本的な対策を検討する。



木之本町杉本地先と余呉町上丹生地先を東西に結ぶ延長約1.8kmのバイパス整備



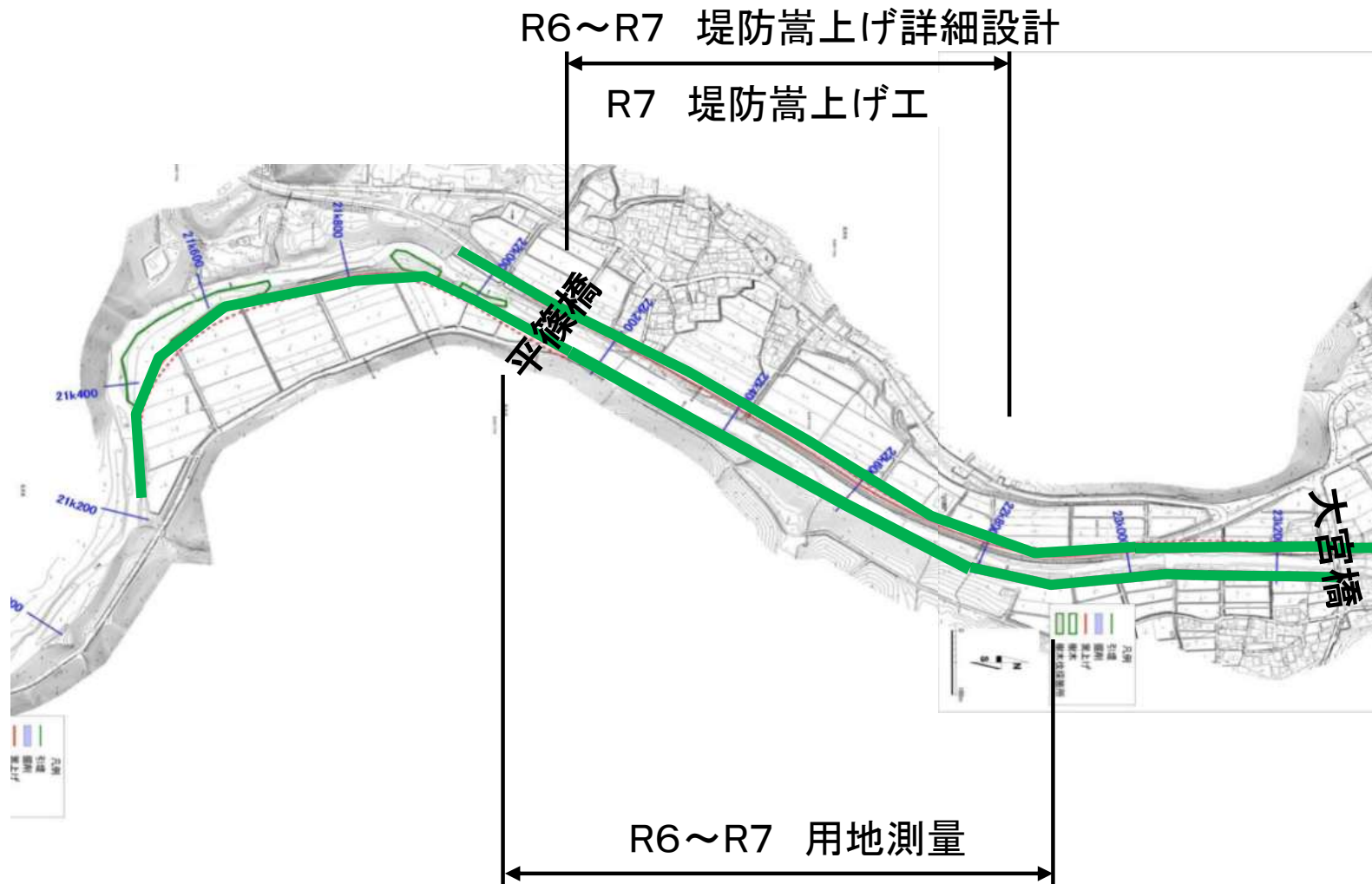
④ー1 高時川の河川改良（１）

【実施中】

（工期： H29年度～）

河川改修の詳細設計等（余呉町下丹生）

位置図



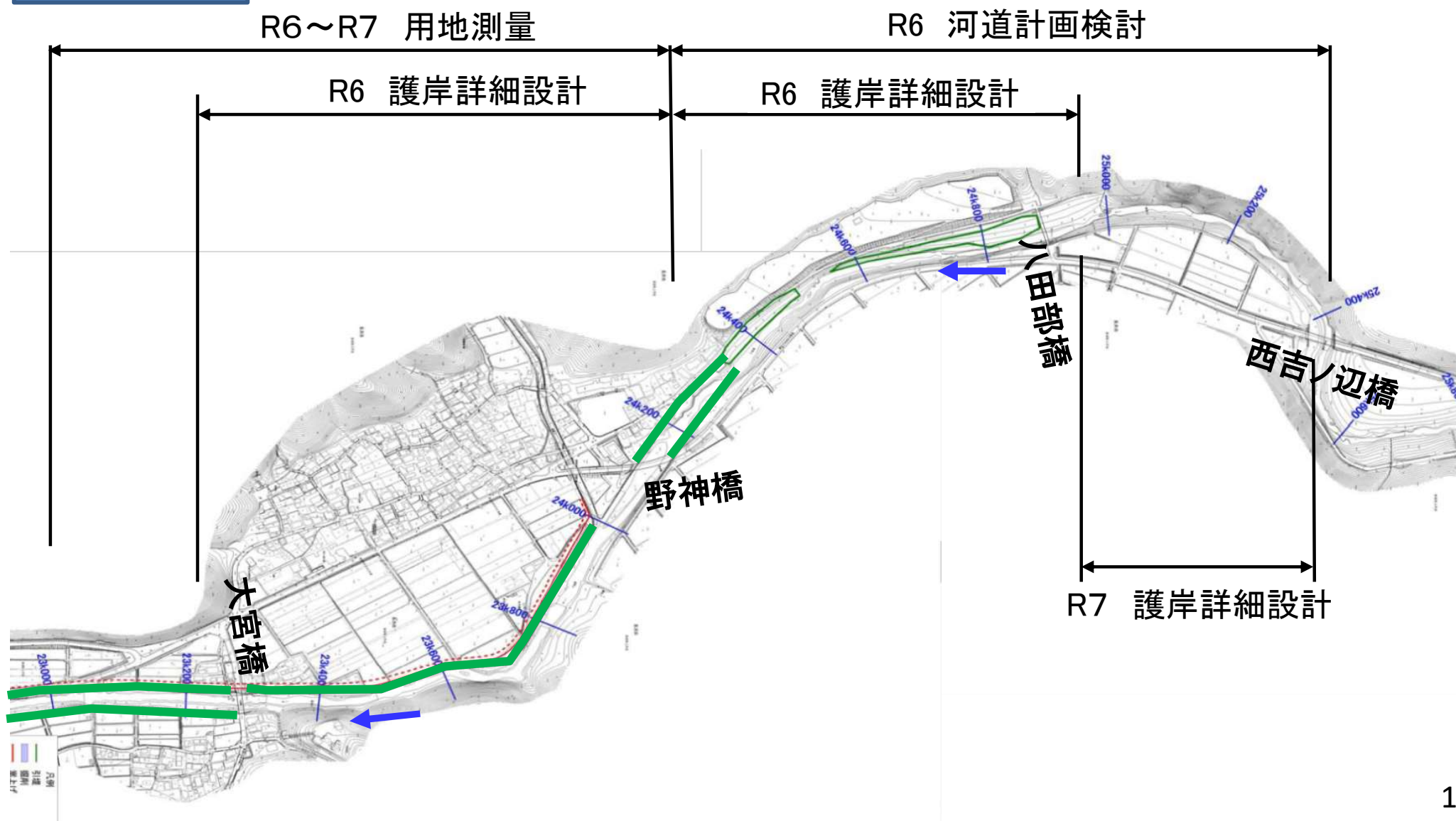
④ー1 高時川の河川改良（２）

【実施中】

（工期： H29年度～）

河川改修の詳細設計等（余呉町上丹生）

位置図



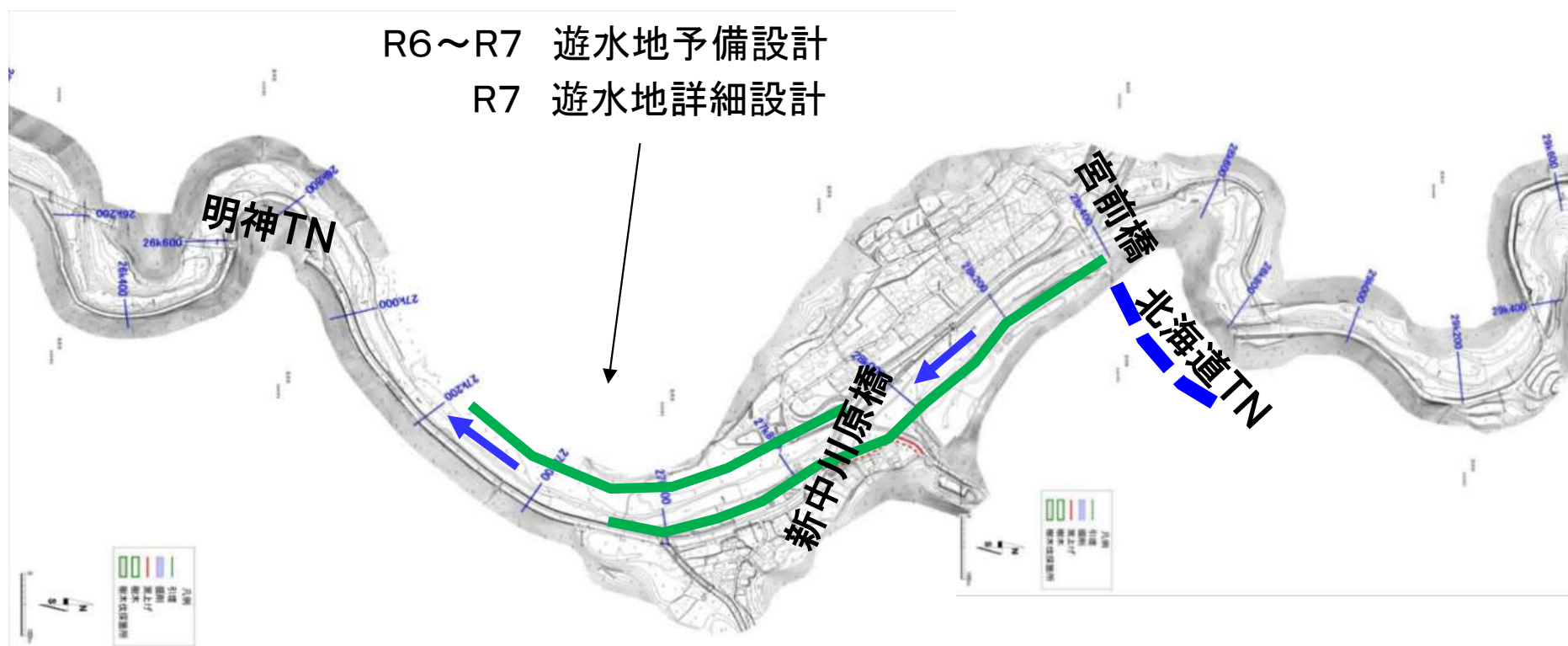
④ー1 高時川の河川改良（3）

【実施中】

（工期： H29年度～）

河川改修の詳細設計等（余呉町菅並）

位置図

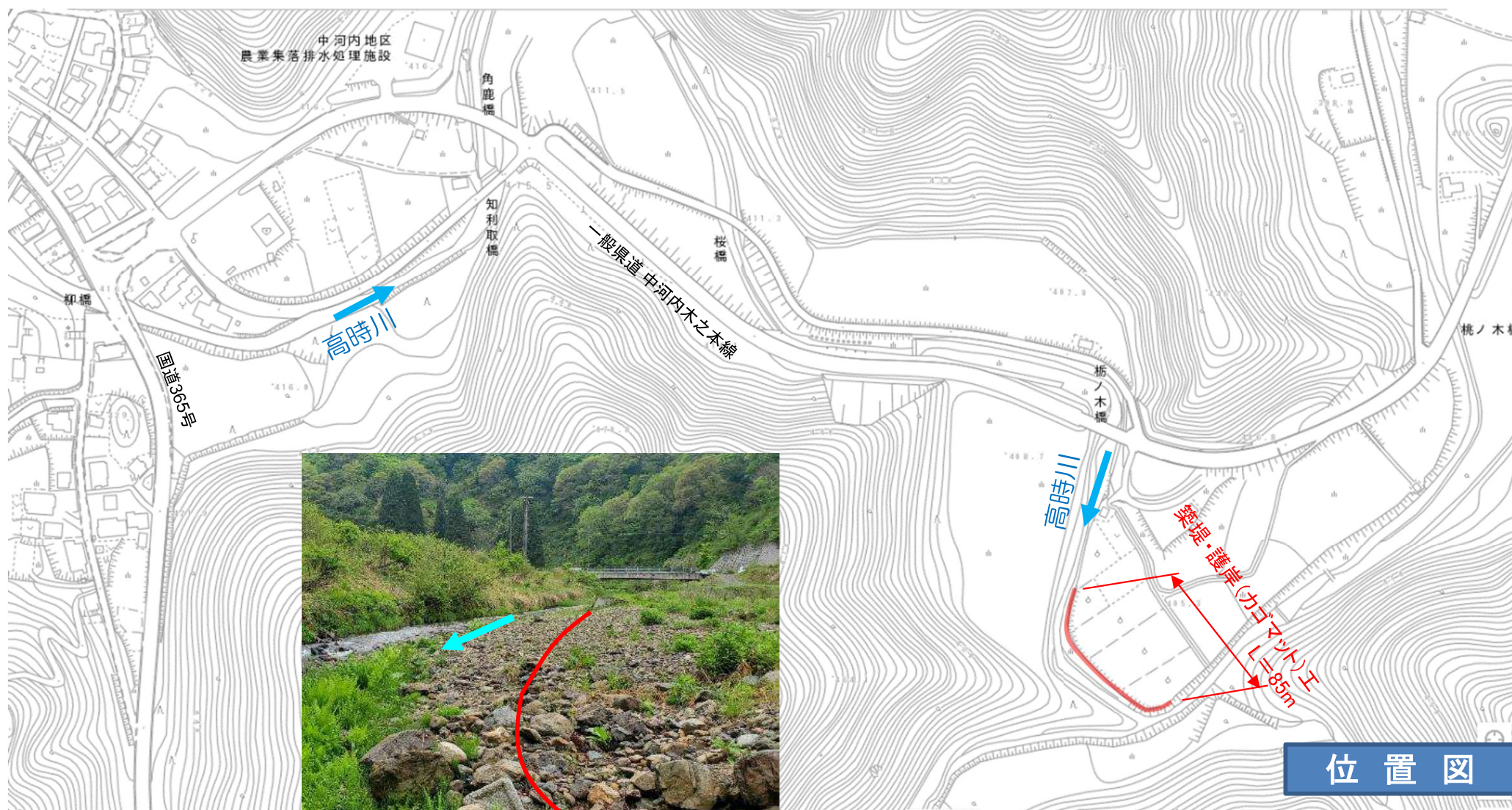


④ー2 高時川の維持管理（１）

【実施中】

（工期：R6年度～R7年度）

老朽化した護岸の補修工事（余呉町中河内）



④ー2 高時川の維持管理（2）（工期：H29年度～）

【実施中】

④ー3 妙理川の維持管理（工期：H30年度～）

河川の維持管理 高時川、妙理川、摺墨川 堆積土砂の撤去

V=1,400m³(R7)

位置図



高時川(菅並)

○ R6実施箇所

○ R7実施予定



水資源機構
丹生事務所

④ー2 高時川の維持管理（2）（工期：H29年度～）

河川の維持管理 高時川 堆積土砂の撤去

高時川（高月町保延寺）

位置図



R4年8月豪雨災害による濁水への対応（R4～）

高時川の長期濁水の原因および対策について（報告書概要）

調査結果

- ①濁度は、大音波谷川合流点から小原橋の間で特に上昇
- ②透視度は、小原橋下流で特に低下
- ③鉱物組成から発生源特定は不可
- ④粒度組成は、田戸橋より下流で細粒土砂の割合が高い
- ⑤航空測量データより、大音波谷川、針川、尾羽梨川、奥川並川で大量の浸食を確認

原因

- ①高時川に堆積した細粒土砂の巻き上げ
- ②スキー場跡地等からの高時川への新たな土砂流入

※本川に広範囲に堆積した細粒土砂の除去は困難であり、自然に浄化されるのを待つ。

対策

- ①スキー場跡地での対策
 - ・裸地箇所の緑化、作業道浸食防止対策、沈砂池 ⇒是正工事完了（R6.11）
- ②上流域の支川等での対策
 - ・大音波谷川での土砂流出防止対策（堰堤設置）、山地斜面对策
- ③高時川本川での対策
 - ・護岸対策（河川・県道の災害復旧工事）、アユ産卵区間での河床耕うん

R7

- ①対策実施、②モニタリング継続、③検討会議等での取組の効果検証、④対策の検討

（大音波谷川における治山工事の実施）

湖北森林整備事務所実施事業

高時川支流の大音波谷川下流にR7年度に谷止工1基を施工着手

位置図



施工位置(大音波川橋付近)



施工イメージ



- ・水量が確保できるまでの間、局所的な水域（魚類の一時避難場所）や連続的な滯筋（縦断的連続性）の確保に向け、令和2年に福橋下流で試行的に水制工整備（1箇所×2基）、滯筋掘削を実施した。
- ・4年間（令和3年～令和6年）のモニタリングの結果、土砂供給の活発な天井川では、持続可能な瀬切れ対策（河道形状の工夫：魚類の一時避難場所および滯筋の確保）とはならなかった。
- ・今後は河川改修と合わせた河道形状の工夫（掘削など）について検討するとともに、国主導のもと利水者を含む関係者の問題意識の共有化を図った上で、水利調整を進めていく。



⑤ー 1 瀬切れ対策

河道形状の工夫：魚類の一時避難場所およびみお筋の確保

・モニタリングの調査として物理環境調査、生物環境調査、地下水調査を実施した。

| 調査項目 | | R3 | R4 | R5 | R6 | モニタリング頻度 |
|--------|-----------|----|----|----|----|---|
| 物理環境調査 | 低水路の河床変動量 | ● | ● | ● | ● | ・R3:3回(R2年10月、R3年5・9月) ・R4:3回(R4年5・10・11月) ・R5:3回(R5年8～10月) ・R6:4回(R6年6・8・10・11月) |
| | 水域面積 | ● | ● | ● | ● | ・R3:10回(R2年11月、R4年5・6・7・8・9・10・11月) ※R4年7・9月は各2回 ・R4:3回(R4年5・10・11月) ・R5:3回(R5年8・9・10月) ・R6:4回(R6年6・8・10・11月) |
| | 河道横断形状 | ● | ● | ● | — | ・R3:3回(R2年11月、R3年5・9月) ・R4:2回(R4年5・9月) ・R5:2回(R5年6・11月) |
| | 河道内地下水位 | ● | ● | ● | ● | R2年10月22日～R6年11月30日 |
| 生物環境調査 | 魚類 | — | ● | ● | ● | ・R4:7回(R4年5・6・8・9・10・11月)※10月は2回 ・R5:6回(R5年8～12月) ・R6:3回(R6年6・10・11月) |
| | 水温・DO | — | ● | ● | ● | |
| その他 | 地下水位データ | ● | ● | ● | ● | H30年8月1日～R6年11月30日 |
| | 高時川頭首工放流量 | ● | ● | ● | ● | |

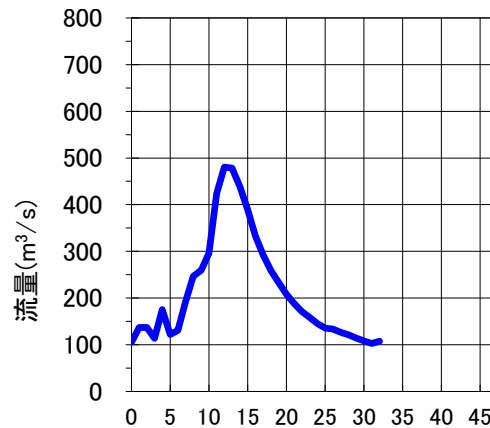
⑤ー1 瀬切れ対策

河道形状の工夫：魚類の一時避難場所およびみお筋の確保

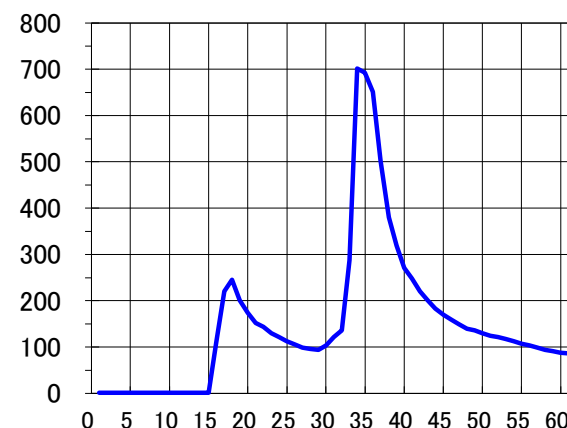
4年間の出水の状況(R2.9－R6.8)

- 水制工設置後の4年間で、R4年8月に戦後最大級(702m³/s)の出水が発生。水制工設置検討の対象出水(H25年T18号、480m³/s)の約1.5倍規模
- R3年7月、8月・R4年2-3月、R5年6月にも中規模出水(200m³/s前後)が発生

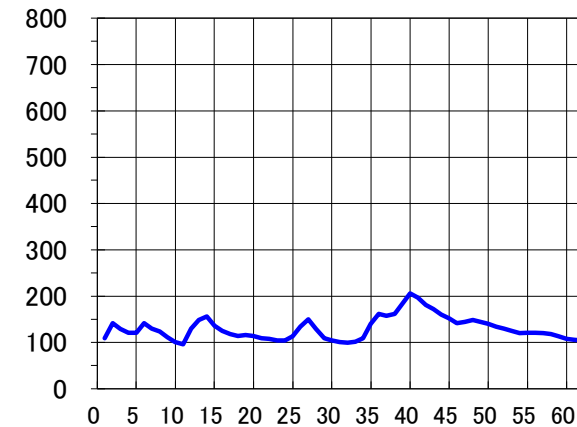
■水制工設置検討の対象外力
(H25年T18号)



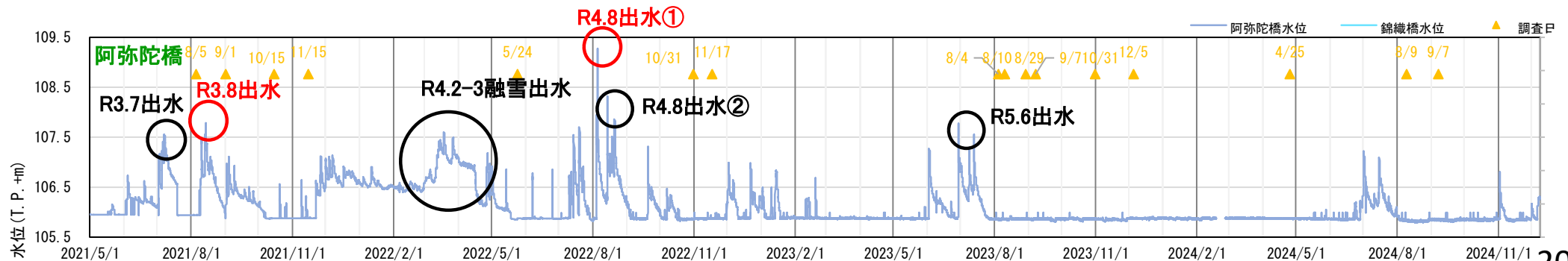
■モニタリング期間の最大出水
(戦後最大級R4.8出水①)



■R3.8出水(中規模出水)



※流量：等流計算で阿弥陀橋地点のH-Q式を作成し、阿弥陀橋水位から流量に換算した値

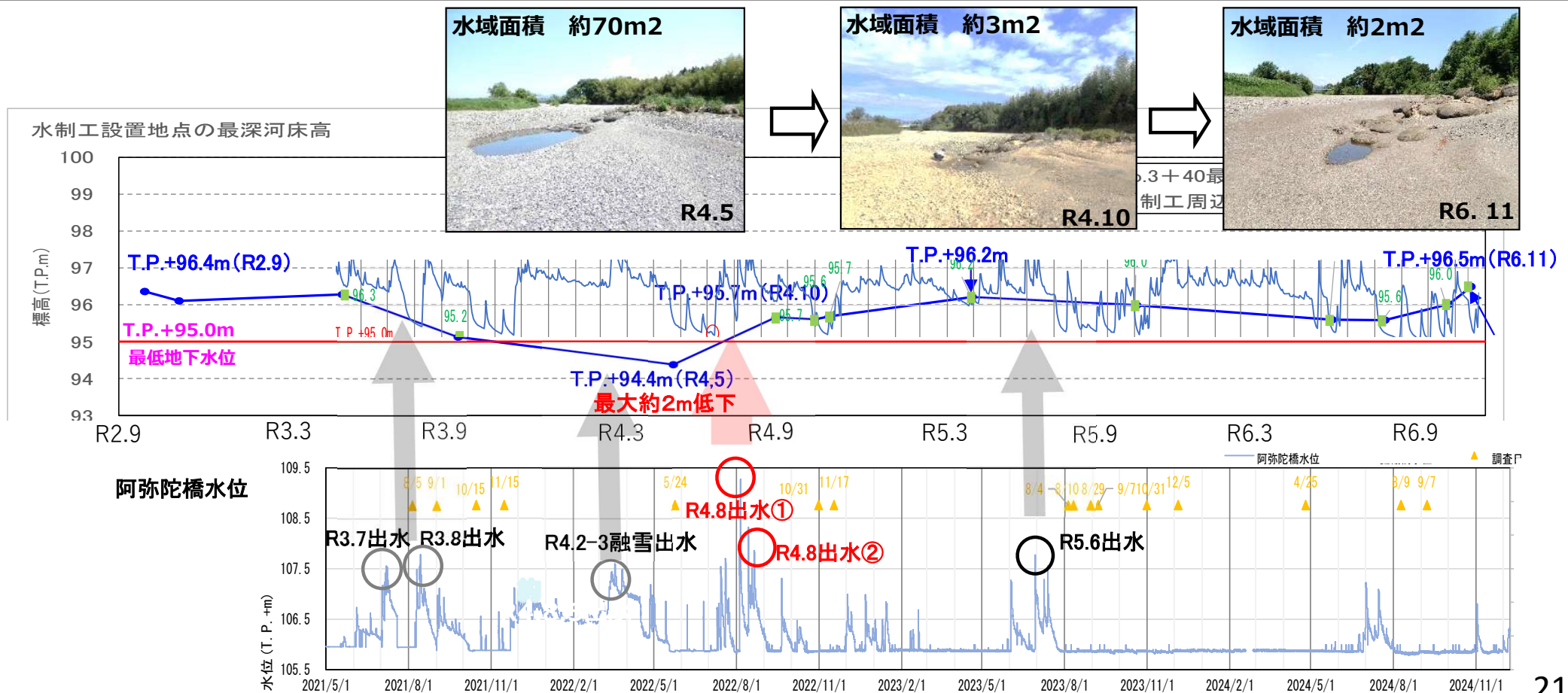


⑤ー1 瀬切れ対策

河道形状の工夫：魚類の一時避難場所およびみお筋の確保

■モニタリング結果（河床変動量、水域面積、地下水位）

- 水制工設置後の河床高は、令和4年5月には最大2m低下したが、令和4年8月の出水により、約1.3m上昇した。その後令和6年11月にはさらに約0.8m上昇した。
- 水域面積は最大で70m²確保されたが、目標の200m²には及ばなかった。
- R4.8出水のような大規模な出水（700m³/s）では、上流から流出した土砂の影響で、水域が埋まってしまうため、持続的な対策とはならなかった。



⑤ー1 瀬切れ対策

河道形状の工夫：魚類の一時避難場所およびみお筋の確保

■モニタリング結果（水温・DO調査）

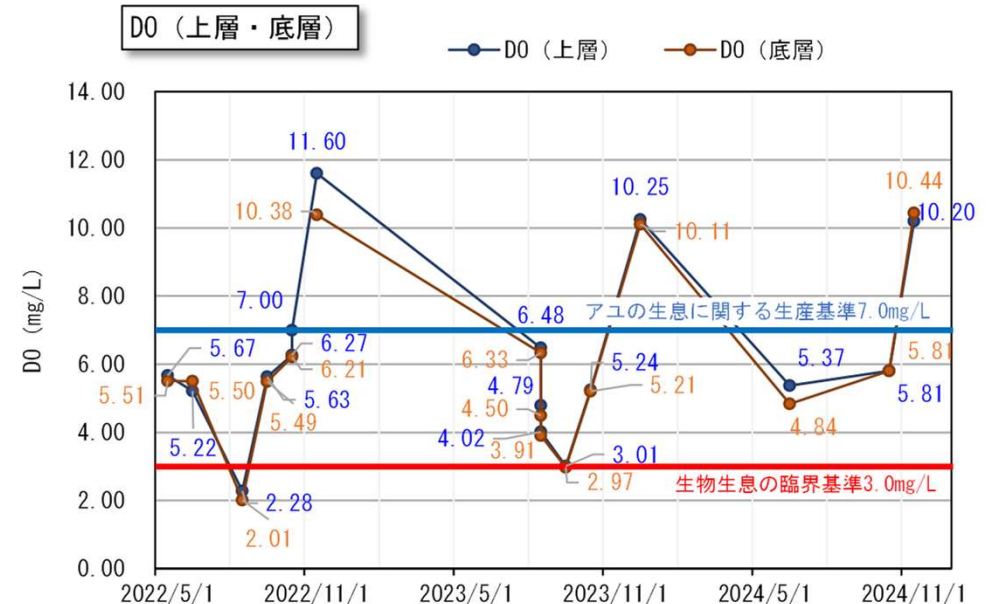
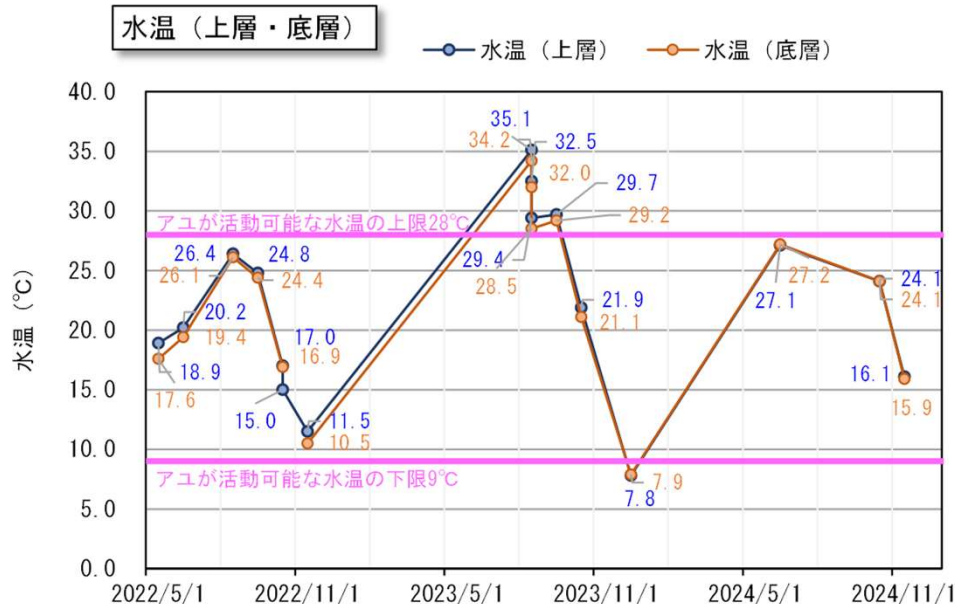
- 水温は、夏季（8月・9月）に上限28℃以上を上回ることもあるが、多くの調査回で基準値内を確認。
- DOは、多くの調査回でアユの生息に必要な7.0mg/Lを下回っている。

| 項目 | | 2022/5/24 | 2022/6/18 | 2022/8/4 | 2022/9/16 | 2022/10/15 | 2022/10/31 | 2022/11/17 | 2023/8/4 | 2023/8/10 | 2023/8/29 | 2023/9/7 | 2023/10/31 | 2023/12/5 | 2024/6/10 | 2024/10/14 | 2024/11/15 |
|----------|----|-----------|-----------|----------|-----------|------------|------------|------------|----------|-----------|-----------|----------|------------|-----------|-----------|------------|------------|
| 水温（℃） | 上層 | 18.9 | 20.2 | 26.4 | 24.8 | 17.0 | 15.0 | 11.5 | 35.1 | 32.5 | 29.4 | 29.7 | 21.9 | 7.8 | 27.1 | 24.1 | 16.1 |
| | 底層 | 17.6 | 19.4 | 26.1 | 24.4 | 16.9 | - | 10.5 | 34.2 | 32.0 | 28.5 | 29.2 | 21.1 | 7.9 | 27.2 | 24.1 | 15.9 |
| DO（mg/L） | 上層 | 5.67 | 5.22 | 2.28 | 5.63 | 6.27 | 7.00 | 11.60 | 6.48 | 4.79 | 4.02 | 3.01 | 5.24 | 10.25 | 5.37 | 5.81 | 10.20 |
| | 底層 | 5.51 | 5.50 | 2.01 | 5.49 | 6.21 | - | 10.38 | 6.33 | 4.50 | 3.91 | 2.97 | 5.21 | 10.11 | 4.84 | 5.81 | 10.44 |

※1 目標値→水温：9～28℃、DO：7mg/L以上

※2 目標値を達成した調査日・項目を緑で示す。

※3 2022/9/16、2022/10/15、2023/12/5、2024/11/15は通水時調査である。



⑤ー１ 瀬切れ対策

河道形状の工夫：魚類の一時避難場所およびみお筋の確保

■モニタリング結果（魚類調査）

- モニタリング調査（R4年度～R6年）で、水制工設置により形成された水域では、アユ、ビワマスなど13種の魚類が確認され、一時的な避難所としての利用が確認された（2248個体）。

| No. | 目名 | 科名 | 種名 | 捕獲個体数 | | | 重要種 | |
|---------------|------|------|-----------|----------|-------|----|------------|--------|
| | | | | R4 | R5 | R6 | 環境省 | 滋賀県 |
| 1 | コイ目 | コイ科 | コイ(型不明) | | 230 | | | |
| 2 | | | タイリクバラタナゴ | | | 1 | | |
| 3 | | | オイカワ | 46 | | | | |
| 4 | | | カワムツ | 16 | 21 | 12 | | |
| 5 | | | ヒメハヤ属※2 | | | 17 | | |
| 6 | | | ウグイ | 89 | 367 | 10 | | |
| 7 | | | カマツカ | | 61 | | | |
| － | | | コイ科 | 97 | 363 | | | |
| 8 | | | ドジョウ科 | ニシシマドジョウ | | 19 | | |
| 9 | ナマズ目 | ナマズ科 | ナマズ | 1 | 4 | 1 | | 要注目種 |
| 10 | サケ目 | アユ科 | アユ | 164 | 22 | 21 | | 分布上重要種 |
| 11 | | サケ科 | ビワマス | 3 | 3 | 1 | 準絶滅危惧 (NT) | 要注目種 |
| － | | | サケ属 | 10 | | | | |
| 12 | スズキ目 | ドンコ科 | ドンコ | | 1 | | | その他重要種 |
| 13 | | ハゼ科 | オウミヨシノボリ | 22 | 646 | | | |
| 個体数合計 2,248個体 | | | | 448 | 1,737 | 63 | | |
| 種数合計 4目7科13種 | | | | 9 | 11 | 7 | 1 | 4 |

※1 水制工設置地点の深掘れ箇所のみ集計である。（通水時調査を含む）

※2 捕獲個体数については、R4は5月～11月の計7回の調査の合計値、R5は5月～12月の計6回の調査の合計値、R6は6月～11月の計3回の調査の合計値である。

※2 ヒメハヤ属はアブラハヤまたはタカハヤである。

※3 コイ科は稚魚であり、オイカワ、カワムツ、ハス、ウグイのいずれかと考えられる。

※4 サケ属は幼魚であり、ビワマスと考えられる。

※5 ビワマスは死体も含む。

⑤ー 1 瀬切れ対策

河道形状の工夫：魚類の一時避難場所およびみお筋の確保

■学識経験者へのヒアリング

- 令和7年2月立命館大学理工学部 里深好文教授にモニタリング結果についてのヒアリング実施。

ヒアリング結果

- ① 福橋下流での河道形状の工夫（水制工）は、4年間モニタリング調査を実施した結果、土砂供給の活発な天井川では持続可能な瀬切れ対策（河道形状の工夫：魚類の一時避難場所およびみお筋の確保）とはならなかった。地下水位観測以外のモニタリング調査を中止することは妥当。
- ② 今後は、河川改修工事などの治水工事と河道形状の工夫をセットで考えるべき。
- ③ 水利調整の実施には、利水者への話し合いを行い、相互理解が必要。

■今後の進め方

- 水域の連続性の観点から、河川改修と合わせた河道形状の工夫（掘削など）について検討。
- 引き続き国主導のもと、利水者を含む関係者の問題意識の共有化を図った上で、水利調整を進めていく。

⑪ー 1 余呉湖周辺の観光誘客に向けた取組み

【実施中】

⑪ー 6 余呉湖周辺を活用した地域振興プランの検討

- ・余呉湖荘跡地の利活用にかかる基盤整備を完了、トイレ整備を実施中
- ・野外活動センター跡地の利活用検討
- ・余呉湖周辺道路の再整備検討

【野外活動センター跡地等の利活用検討】

R7.2~R7.10

県有資産活用のひろばを用いて民間事業者にヒアリングや現地立ち合いを実施(6者)



巨樹・巨木の森保全活用事業 (丹生ダム事業用地周辺残存山林の活用と保全)

令和4～6年度

淀川源流の森・活用保全事業(余呉)

- ・ 検討委員会の開催
- ・ 自然環境調査の実施
- ・ 地域資源掘り起こし
- ・ 巨樹巨木保全活用の方向性を議論するミーティングを実施
- ・ 余呉地域の方と、森と人とのかかわりについてセミナーを実施

やまを活かす巨樹・巨木の森保全活用事業

(余呉・木之本(金居原)・朽木)

- ・ 巨木周辺環境整備
- ・ 巨木の保全活動

課題

- ・ エコツーリズムを担う人材育成、組織強化
- ・ エコツアーの魅力向上
- ・ 保全活動の自走化

対応

- ・ 巨樹巨木に関する活動の地域連携
- ・ エコツアーの企画や発信における企業等との連携
- ・ 地域資源の保全と活用の運営モデル

令和7～8年度

巨樹・巨木の森保全活用事業 (余呉・木之本(金居原)・朽木)

○令和7年度

- ・ 地域の食や生活文化などのコンテンツを加えたエコツアーを具体化および充実化
- ・ ガイド人材育成の継続

○令和8年度

- ・ 持続可能なエコツアーの実施および検証
- ・ ガイド人材育成の継続、周辺施設(宿泊施設等)との連携

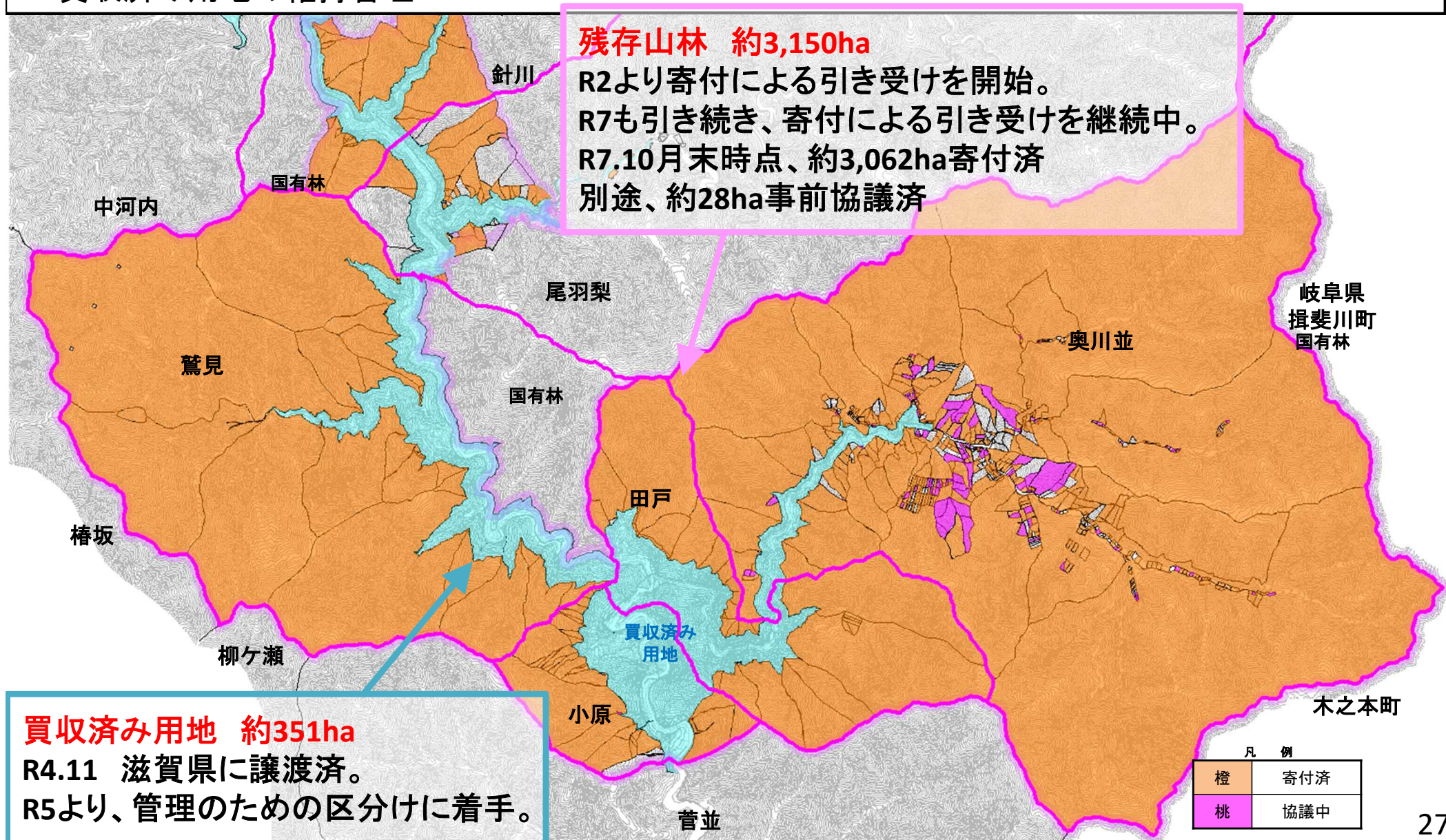
※巨木の保全活動等への支援は継続

⑭ー 2 残存山林の寄付引き受け・維持管理

【実施中】

⑭ー 3 買収済み用地の維持管理

- ・残存山林の寄付による引き受け
- ・買収済み用地の維持管理



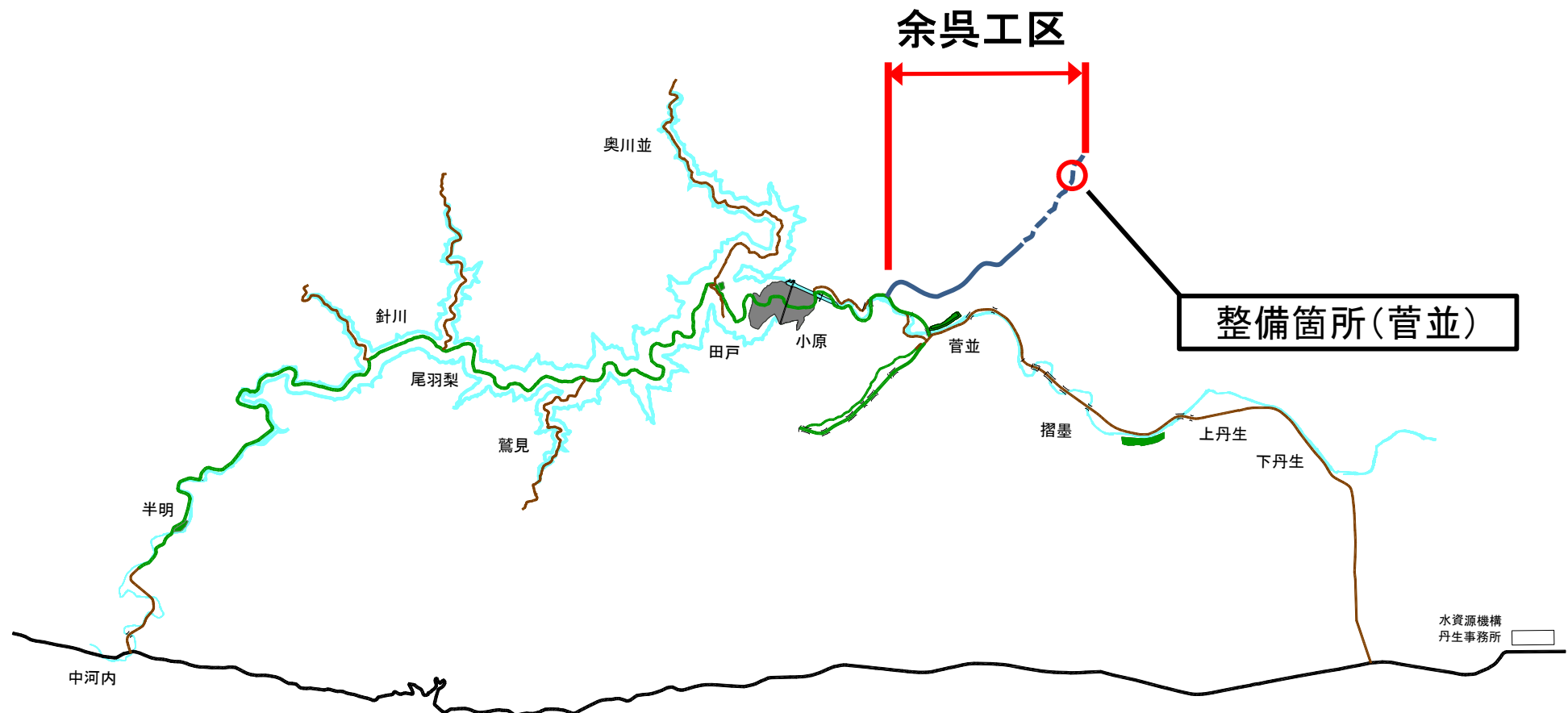
⑭ー5 林道横山岳線の整備

【実施中】

湖北森林整備事務所実施事業

余呉工区の林道整備 R7年度は171mの区間の工事を実施予定（R6は55m実施）

位置図



* 余呉工区の林道整備 6.2kmのうちR6年度までに4.0km完了